

坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和4年6月7日
第9号

【南っ子の皆さんへ】『南小・いじめゼロ宣言』～合言葉『己の欲せざる所 人に施すこと勿かれ』～

【校長講話より】 今年度も2か月が経ちました。校長先生は南っ子の皆さんに出会って、学校生活の様子を見守ってききましたが、一時間一時間の授業を大切に頑張っている姿、委員会や学級の係・当番の仕事、掃除をしっかりと責任をもって行っている姿、休み時間に楽しそうに遊び、笑顔が一杯の姿。そして、上級生が下級生に優しく接している姿など、改めて学校生活の主役である皆さんが、自分たちの南小をさらに良くしようと頑張っている姿が伝わり、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。先週の土曜日に全員で創り上げた運動会での姿も大変に立派で、とても感動しました。皆さん一人一人が、「南っ子の合言葉」(=学校教育目標)『やさしく かしこく たくましく』を大切にしている証拠です。


さて、今日は最初のお話朝会です。校長先生が、皆さん全員に真剣に考えてもらいたいことをお話します。

まずは、クイズです。この人は誰でしょう。ヒントを4つ言います。当ててくださいね。【ヒント1】この人は、坂戸市の偉人で、「日本の製紙王」と呼ばれた大川平三郎の叔父さん。埼玉県の偉人として、とても有名な人です。【ヒント2】500以上の銀行や会社をつくり、600以上の事業を行い、「日本資本主義の父」と呼ばれています。【ヒント3】2024年に新しい一万円札の顔になります。【ヒント4】昨年大河ドラマの主人公にもなりました。もう分かりましたか。そう、渋沢栄一です。でも、お話の主演は渋沢栄一ではありません。この渋沢栄一が、大切にしていたものがあります。それは、『論語』といって、今から2500年前の中国にいた孔子という人の言葉をまとめたものです。この孔子という人は、キリストや釈迦などと共に世界の四大聖人と言われている思想家で、その教えは、今でも世界中の人に大きな影響を与えています。この孔子に、ある時、弟子の一人が尋ねました。「先生、人として生きていく上で、一番大切なことは何でしょうか？人間が、一生、これだけは守っていかなければならないことを、一言で言ったらどのような言葉になりますか。(皆さんは何だと思えますか?)孔子は弟子に、こう答えました。「一言で言えば、それは『思いやり(=「怒」)』です」。弟子は、さらに尋ねます。「先生、ただ『思いやり』と言われてもよくわかりません。『思いやり』というのは何をすることなのでしょう?」。孔子は言いました。「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」。これは、「自分が人からされたら嫌だなと思うことは、人にはしてはいけません。いつも相手を思う、いたわりの心をもつこと」という意味です。孔子は、人間関係で一番大切なのは「思いやり」で、思いやりのある行動とは、「自分が嫌なことは、人にしない」、この一言につきると言っています。「南っ子の合言葉」=「やさしく かしこく たくましく」。まず一番目にあるのは「やさしく」ですね。「南っ子よ、優しくあれ!」。人への思いやりの心を大切にしてください。前に話しました。校長先生はもちろん、全ての先生方が、皆さんが「安心して、楽しく学校生活を送ることを」望んでいます。「いじめ」は絶対に許しません。南小には素敵なお知らせが掲示されていますね。『いじめをしない させない ゆるさない みんな幸せ 南っ子』。「南小には、いじめなんか無いよ」と思っている人がほとんどだと思います。しかし、お友達が嫌だなと思うことを、ついつい言ってしまったり、してしまったり、からかってしまったりして後悔することはありませんか。相手が、嫌だなと思うことはいじめです。今日、ここに改めて、『南小・いじめゼロ宣言』をします。そして合言葉は、『己の欲せざる所 人に施すこと勿れ』。優しい南っ子の皆さんの中には、「自分でも嫌なことは、お友達にもしない」なんて当たり前だよ、と思ってくれると思います。南っ子は、さらに上をいきます。「自分がしてほしいことを(ただ求めるのではなく)、人にする」=『己の欲する所 人に施す』を行ってほしいと思います。『南小・いじめゼロ宣言』を受け、これから皆さんがどのような行動をし、そして学級・学年・学校全体でどんな取組をするのか、期待しています。これは、皆が楽しく学校生活を送るための校長先生からの大切なお願いです。よろしく願います。今日もしっかりとお話を聴いてくれてありがとう。終わります。



論語 衛霊公篇 より

子貢問いて曰く、一言にして以て終身これを行ふべき者ありや。子曰く、其れ怒。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。



【『家庭用・いじめ発見チェックシート』】

【起床から登校前】

□ 布団からなかなか出てこなかったり、具合が悪そうであったりする □ けだるそうな、疲れた表情である

□ いつもと違って朝食を食べようとしない □ ぼんやりしたり、ふさぎこんでいたりする □ 学校に行くのを渋ったり、登校班の集合場所に行きたがらなかったりする

【登下校時】

□ 友達の荷物を持たされている □ 一人で登下校するようになる □ 遠回りして登下校するようになる

□ 登校時、途中で家に戻ってくる

【帰宅時】

□ 理由のはっきりしない服の汚れ、破れやボタンのほつれがある □ 持ち物等が壊されている □ プリントが破れている □ 道具や持ち物に落書きがある □ あざや擦り傷があってもその理由を言わない □ いつもより帰宅が遅い □ 自分の部屋に駆け込み、なかなか出てこない □ 学校の話をしなくなる □ 外出したまらない

【夕食から就寝まで】

□ 食欲がない □ 特定の友達に対する言葉遣いが不自然に丁寧である □ 友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいる友達と遊ばなくなったりする □ お金の使い方が荒くなったり、無断で持ち出したりするようになる

□ 部屋にある持ち物や学用品がなくなっていく □ 買い与えた覚えのない品物をもっている □ メールはこそこそ見る、鳴っている携帯電話に出たがらない □ 部屋に閉じこもりがちで、好きな趣味などにも興じなくなる

□ 家族の者と話をしなくなる □ いじめの話をする**と強く否定する** □ 弟や妹をいじめるなど、急に乱暴になったり情緒不安定になったりする □ 疲れた様子であったり、なかなか寝つけなかったりしている □ 普段より暗かったり、逆に明るく演じたりする感じがする

◀ 夢道場・ほっとインフォメーション ▶

『新体力テスト』を実施します！

【新体力テストって？】

文部科学省では、全ての学校を対象に、毎年「新体力テスト」を実施し、調査の検証をもとに国民の体力向上の推進に活用しています。「調査実施日」や「実施項目」は以下の通りです。

【調査実施日】

○6月14日(火) 3・4年生 予備日 6月17日(金)

○6月15日(水) 5・6年生 予備日 6月21日(火)

○6月16日(木) 1・2年生 予備日 6月22日(水)

【実施項目】

□握力 □上体起こし □長座体前屈

□反復横跳び □20Mシャトルラン

□50M走 □立ち幅跳び □ボール投げ

*学年ごとの全国や埼玉県の平均値等がHPに掲載されておりますので、ご家族で参考になさってください。なお、南小学校は、例年、全国・全県の平均値を大きく上回っている体力向上推進校です。

*ご家庭におかれましても、新体力テストでも実力が発揮できますよう、「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活と健康管理を引き続きお願いいたします。

『コツコツときたえた体は たからもの』

『個人面談』よろしくお願ひいたします！

6月8日(火)～17日(金)に実施の「個人面談」では、ご多用中ご都合をつけてくださり誠に有難うございます。

ご家庭での様子や学校生活の様子など、情報を共有し、お子さんのさらなる今後の成長のために役立ててまいります。限られた時間ではありますが、有意義な面談にしたいと考えております。ご協力をよろしくお願ひいたします。

『家庭・学校・地域で子供の声に耳を傾け、心の叫びを見逃さない』～「5つの見」～

6月になり、1学期もまとめの時期にさしかかりました。日常的に落ち着いた学校生活の中で、互いに協力し合いながら切磋琢磨し合い、明るく元気に頑張っている南っ子たちの姿が随所に見られています。月ごとの生活アンケートでも、ほぼ100%の児童が「**学校が楽しい**」と回答しています。これもご家庭・地域の皆様のご支援があつてのことです。

しかし、それは毎日とは限りませんし、中には様々な困難さや悩みを抱えながら日常生活を送っている児童も当然ながらいると思います。いつの時代も、どんな子供であっても学校という集団生活の中での人間関係や学業のこと、家庭のことや将来のこと等、様々な悩みを抱えながら成長していきます。さらに長期に渡る「新型コロナウイルス感染症への不安」や「新しい生活様式や自粛生活の中での息苦しさ」等、相当なストレスを抱えていても決して不思議ではありません。

改めてご家庭や地域の皆様にお願ひします。子供たちを見守っていただきながら、「子供たちの声に耳を傾ける、さらには、声にはならない心の叫びも聴きとるよう努めていただきたい」のです。そのためにも「**普段から子供の話をよく聴いて、一緒に考えられる環境づくり**」も大切です。学校でも引き続き、児童理解に努め、担任だけでなく、さわやか相談員やスクールカウンセラー等も含めた学校全体のチームで対応してまいります。

学校・家庭・地域の三者の連携はもちろんですが、学校ホームページにも掲載しておりますように、埼玉県教育委員会よりの『**保護者の皆様へ～かけがいのない子供たちを守るために～**』、『**埼玉県ネットトラブル注意報**』、『**子供のメンタルヘルスについて**』、埼玉県警察本部よりの『**青少年の非行・被害防止等について**』、埼玉県坂戸保健所よりの『**子どもの心の健康相談**』、その他、関係機関が設置している『**いじめ・不登校などの学校生活での悩み・虐待**』や『**いのちの電話**』等の無料の相談窓口もあります。是非、参考になさっていただき、ご活用ください。次代を担う大切な子供たちを守るため、『**5つの見＝見逃さない・見過ごさない・見捨てない・見守る・見届ける**』。引き続きご協力をよろしくお願ひいたします。